

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 7 月 16 日 (2020.7.16)

【公表番号】特表 2019-517320 (P2019-517320A)
 【公表日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-024
 【出願番号】特願 2018-563125 (P2018-563125)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/02 (2006.01)

A 6 1 B 6/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/02 3 0 0 Z

A 6 1 B 6/06 3 3 0

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 5 月 29 日 (2020.5.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数の X 線源を有する X 線撮像装置であって、少なくとも 2 つの組の直線状 X 線不透過性細条を有する X 線撮像用の散乱線除去格子 (A S G) を備え、該少なくとも 2 つの組における細条の各々はそれぞれ長軸を有し、前記少なくとも 2 つの組における異なる組からの細条であって、平行でない長軸を有する少なくとも 2 つの細条が存在する、X 線撮像装置。

【請求項 2】

前記少なくとも 2 つの組における 1 つの組からの少なくとも 1 つの細条が、前記少なくとも 2 つの組における前記 1 つの組からの 1 つの他の細条に対して、自身の長軸の回りで傾斜されている、請求項 1 に記載の X 線撮像装置。

【請求項 3】

前記少なくとも 2 つの組のうちの少なくとも 1 つの組における細条が平面を形成する、請求項 1 又は請求項 2 に記載の X 線撮像装置。

【請求項 4】

前記少なくとも 2 つの組のうちの少なくとも 1 つの組における細条が湾曲した面を形成する、請求項 1 から 3 の何れか一項に記載の X 線撮像装置。

【請求項 5】

前記少なくとも 2 つの組が共通面内に配置される、請求項 1 から 3 の何れか一項に記載の X 線撮像装置。

【請求項 6】

少なくとも n ($n \geq 3$) 個の組を有し、前記少なくとも n 個の組における異なる組からの n 個の細条の各長軸が n 個の頂点を持つ多角形を形成する、請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の X 線撮像装置。

【請求項 7】

前記散乱線除去格子が当該 X 線撮像装置の X 線検出器の前に配置される、請求項 1 から 6 の何れか一項に記載の X 線撮像装置。

【請求項 8】

前記 X 線検出器に向かって各 X 線ビームを放出する少なくとも 3 つの X 線源が存在し、これら X 線源が前記 X 線検出器の光軸の周囲に配置される、請求項 7 に記載の X 線撮像装置。

【請求項 9】

前記少なくとも 3 つの X 線源が前記 X 線検出器と交差しない面上に配置可能である、請求項 8 に記載の X 線撮像装置。

【請求項 10】

前記散乱線除去格子が X 線ビームの何れか 1 つに対して指向的にフィルタリングを行う、請求項 1 から 9 の何れか一項に記載の X 線撮像装置。

【請求項 11】

X 線ビームの少なくとも 1 つが、前記少なくとも 2 つの組における異なる組からの細条を同時に照射する、請求項 1 から 10 の何れか一項に記載の X 線撮像装置。

【請求項 12】

前記細条が、前記散乱線除去格子を当該 X 線撮像装置の前記 X 線源のうちの少なくとも 1 つの X 線源の焦点を通過するラインに収束させるように、互いに対して傾斜される、請求項 2 から 11 の何れか一項に記載の X 線撮像装置。

【請求項 13】

前記少なくとも 2 つの組における異なる組からの細条が、前記複数の X 線源における異なる X 線源の焦点を通過する異なるラインに収束される、請求項 1 から 12 の何れか一項に記載の X 線撮像装置。

【請求項 14】

前記少なくとも 2 つの組における異なる組からの細条が、前記焦点において交差する異なるラインに収束される、請求項 12 に記載の X 線撮像装置。